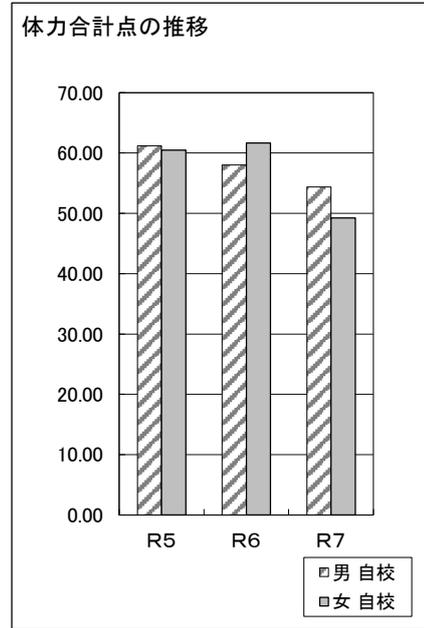
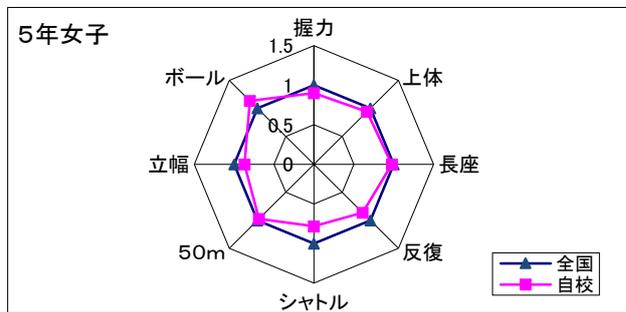
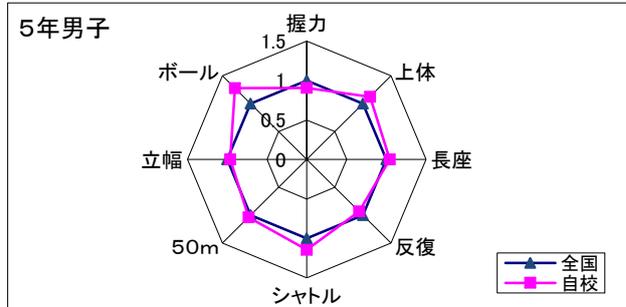


学校名	小26 川尻小学校
-----	-----------

### 1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R7平均値							体力合計点			
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R5	R6	R7
5年	男	全国	15.97	19.45	33.88	40.90	47.95	9.46	150.96	21.06	52.60	52.54	53.03
		自校	14.5	21.9	35.4	38.2	54.8	9.1	145.3	26.9	61.20	58.00	54.35
		比較	△	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○
	女	全国	15.61	18.36	38.17	38.71	36.87	9.77	142.39	13.10	54.29	53.93	53.98
		自校	14.1	17.3	37.3	33.4	28.8	10.0	124.0	14.9	60.50	61.64	49.25
		比較	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	△

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



### 2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	上体起こし	握力
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12のカテゴリー中10カテゴリーで全国平均を下回っている。</li> <li>・体育科の中でくれチャレンジマッチスタジアムのダッシュリレーや8の字跳びなどに取り組んできたが、成果が見られない。2月のマラソン大会に向けて、走る習慣をつくり、走の向上に繋げていく。</li> </ul>	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12カテゴリー中9カテゴリーで全国平均を上回った。外遊びを推奨し、運動する機会が増えたことが影響していると思われる。また、測定時に目標を明確に設定させたり、1年生には6年生の測定の様子を観察させたりしたことが向上に繋がったと思われる。成果が表れてきているので、今後も取組を継続していく。</li> </ul>	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年、6年以外の8カテゴリーが全国平均を下回っている。</li> <li>・朝の会の健康観察時の「グーパー運動」については、学年によって実践に偏りがあったため徹底していく。給食の牛乳パックの片付けについては向上の要因にしていると思われるので継続する。</li> </ul>

### 3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合		朝食を毎日食べる児童の割合		1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合				
男子	全国	93.5	男子	全国	82.5	男子	全国	90.1
	自校	94.1		自校	78.6		自校	94.1
女子	全国	85.8	女子	全国	80.4	女子	全国	82.8
	自校	90.0		自校	72.2		自校	80.0
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外遊びの奨励により、昨年度より「運動が好き」と答えた児童の割合が男女とも向上した。</li> <li>・運動委員会が運営した「校内ドッジボール大会」「長縄の8の字大会」「短縄跳び大会」などの実施により、運動に対する関心や意欲を高めることができた。</li> </ul>			<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはんを食べない日がある児童の割合が非常に高い。また、自校で行った調査によると、バランスの良い朝食を食べていないという課題もある。</li> </ul>			<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男子は全国平均を上回っているが、女子は下回っている。</li> <li>・男子は運動に関わる習い事をしていたり、放課後集まって遊びに夢中になっていたりすることで運動する機会が多いと思われる。女子の運動不足に対しては対策を図る必要がある。</li> </ul>		